

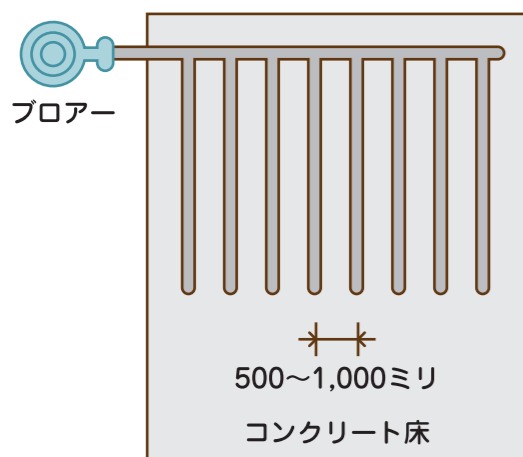
既存の堆肥盤を簡単に改造！

エアレーション付き堆肥盤

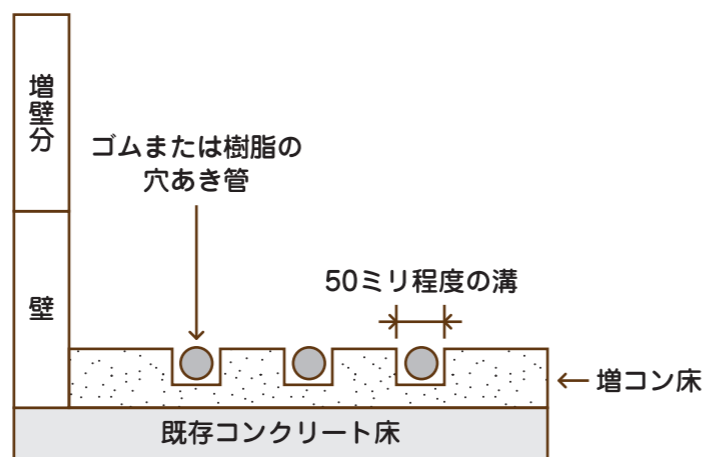
施設として用意及び工事すること

- プロアー
- ゴムまたは樹脂の穴あき管
- 配管を入れておく
- コンクリート床に増コンで溝を設ける

壁高は、既存のコンクリート壁にコンパネ等を足して2~2.7m確保する方が良い(直接の寒風を避けるため)



床の配管イメージ



床の断面イメージ

1案 日々の糞尿のみを減量していくタイプ
ちとせマグマ菌床(1.5~2m高)をエアレーションで高温発酵させ、その上に糞尿を投入します。糞尿は1日で気化蒸発し、跡形もなく処理できます。

2案 混合物をまとめて乾燥減量するタイプ
糞尿とちとせマグマ入りの敷料の混合物を堆肥盤に投入します。投入した混合物をエアレーションで高温発酵させると、2~3日で乾燥し処理できます。

※ 糞尿の水分がたまると菌床の下より浸み出した場合に備えて、地下タンク(マンホール程度)及び、その液体を再度菌床に散布するポンプ等を備えておけば安心です。

※ **重要事項** ちとせマグマ菌は特許取得商品です。この菌は猛烈な勢いで増殖します。増殖した菌について、お客様本人は拡大してご利用頂けますが、他の方に譲ったりすることは出来ません。

1案・2案 共通
乾燥・殺菌され、処理が終わった堆肥物をふるい機にかけます。ふるわれた細かい物は堆肥原料として利用でき、残ったチップはちとせマグマとして永続的に再利用できます。
菌床が固くなり、エアーが目詰まりしてきた場合は、タイヤショベル等で簡単に攪拌することにより、さらに半年以上効力を発揮します。



優良産廃処理事業者 認定 40町のエコクラスター
リサイクルファクトリー 株式会社

〒千歳市中央690-1 ☎0123-29-2030 🌐http://r-fact.com

敷料程度の価格 **超経済的** 使用量大幅削減

糞尿処理の悩み解決

- 1案** 糞尿の即日処理
発生量をその日の内に処理
- 2案** 敷料として繰返し利用
使用後まとめて再生処理し再利用

ちとせマグマ

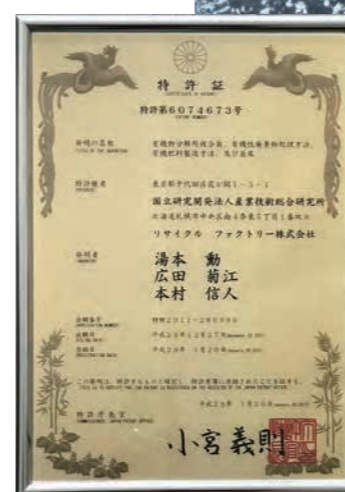
マイナス25℃の屋外の堆肥山(菌床)
表面は霜柱で真っ白、でも25~30cm中は
驚く事に80~90℃の高温で菌は働いています!



超高温発酵!!

千歳生まれの菌だから、厳寒の中でもドンドン増殖します!

特許 平成29年1月29日 / 特許 第6074673号
(共同特許 国立研究開発法人産業技術総合研究所)



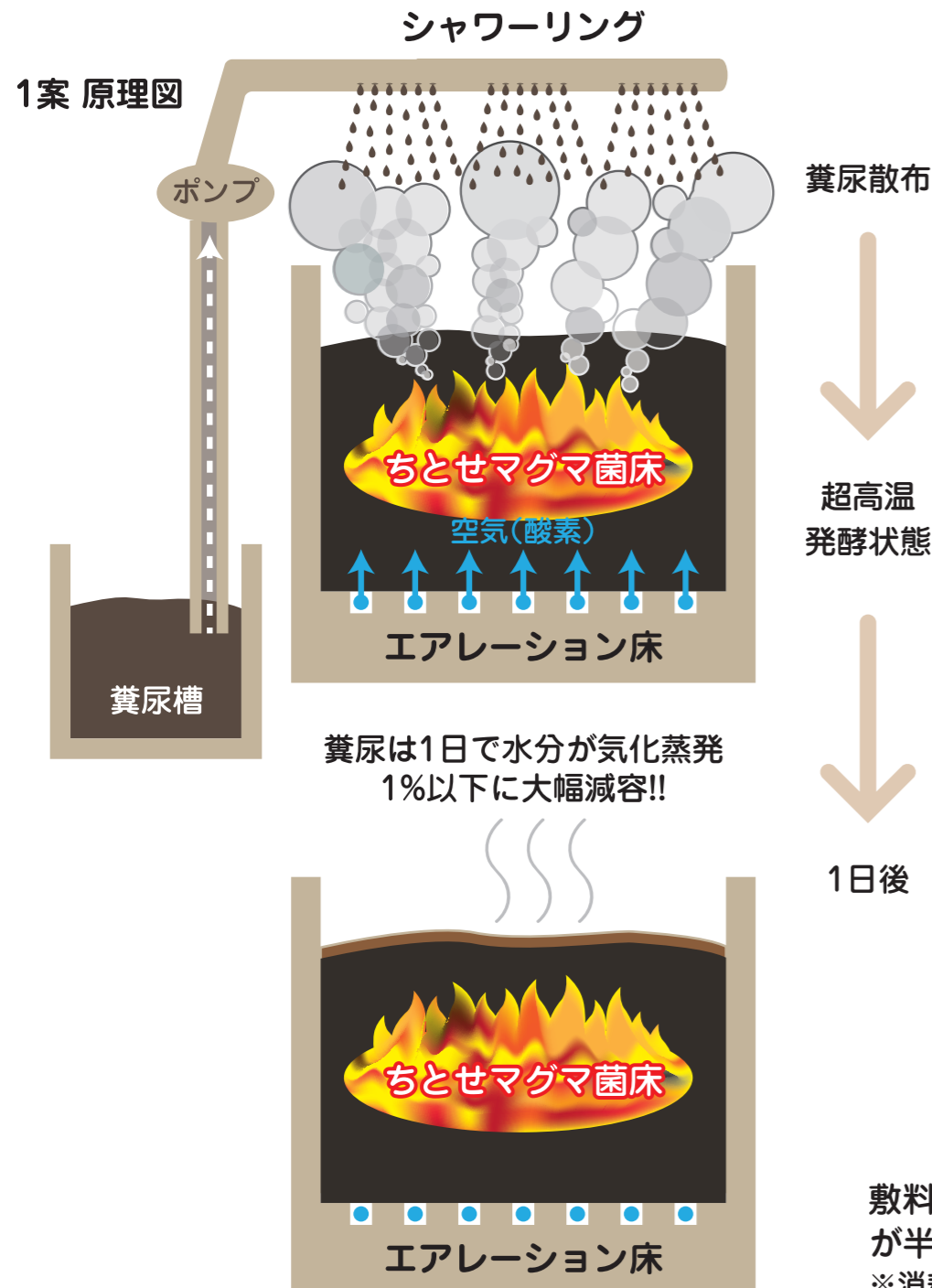
特許証

リサイクルファクトリー 株式会社

大幅な経費削減に貢献する新技術 2提案

1案 糞尿の即日処理

日々発生する糞尿を超高温発酵中の菌床(チップの堆積山)に散布(間欠シャワーリング)する事で、水分を一昼夜で気化・蒸発(消滅)させます。1%以下程の有機固形物、有機含有水は菌のエサとなり菌のエネルギー源となる事で消滅すると共に理想的な永続型超高温発酵となります。

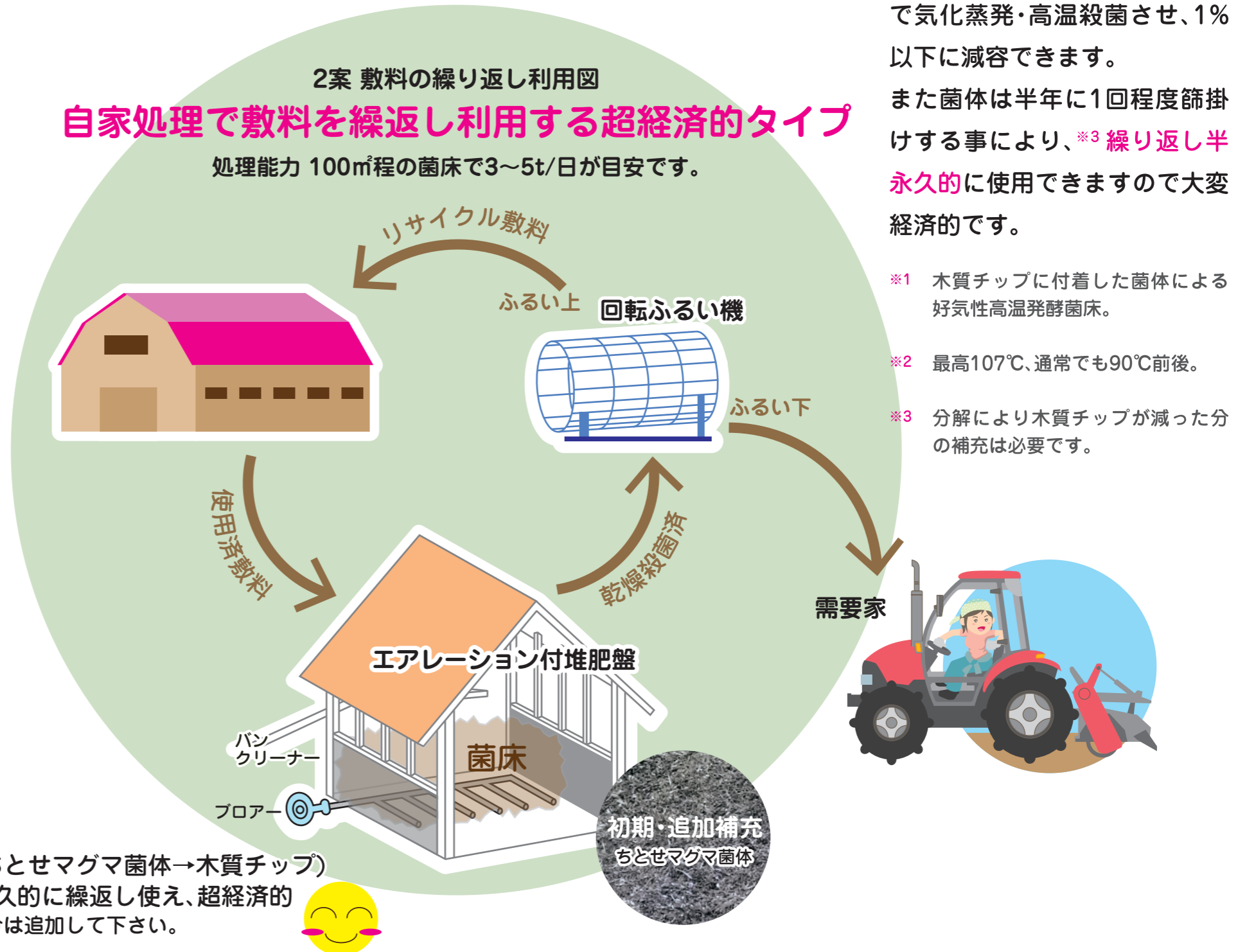


2案 ちとせマグマ菌体(チップ)を敷料として繰り返し利用

敷料として利用後、糞尿を吸着させたまま回収しエアレーション付き堆肥場(既存堆肥場を若干の改造)で超高温発酵させ、病原菌の死滅と乾燥をさせます。乾燥したチップにこびりついた粉(有機分)は回転篩(トロンメル)掛けで取り除く事で、敷料として利用出来ます。

2案 敷料の繰り返し利用図 自家処理で敷料を繰り返し利用する超経済的タイプ

処理能力 100㎡程の菌床で3~5t/日が目安です。



ちとせマグマ 使用説明

※1 ちとせマグマ菌床を使用することにより、※2 超高温発酵で、含水率の高い家畜糞尿などを1日で気化蒸発・高温殺菌させ、1%以下に減容できます。また菌体は半年に1回程度篩掛けする事により、※3 繰り返し半永久的に使用できますので大変経済的です。

- ※1 木質チップに付着した菌体による好気性高温発酵菌床。
- ※2 最高107℃、通常でも90℃前後。
- ※3 分解により木質チップが減った分の補充は必要です。